

2004 年  
第 5 回相模湾ヨットウィーク

帆走指示書

主催 (財)日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎

協力 油壺ヨットハーバー(三崎マリン株式会社)

油壺京急マリーナ(三崎観光株式会社)

A Y C

運営 相模湾ヨットウィーク実行委員会

## 1. 責任の所在

艇と乗員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り込ませるように全力を尽くさなければならない。

オーナーは船体、スパー、リギン、セール及び全ての備品を確実に整備し、又特別規定備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所を全ての乗員に熟知させておかなければならない。

各レースにおいて主催、主管、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員及び船体の安全について、なんら責任を負うものではない。

レース艇がスタートするか否か、又レースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。

## 2. 適用規則

本レガッタはセーリング競技規則 2001-2004 (RRS) 及び第 5 回相模湾ヨットウィーク実施要項及び帆走指示書を適用する。

尚、適応規則及びレース公示と本帆走指示書との間に矛盾が生じた場合本帆走指示書を優先する。

## 3. 参加資格

3 - 1 各クラスとも小型船舶検査機構の安全検査に合格した艇であり、レース期間中有効な保険証書（賠償、搭乗者傷害を含む）を有する LOA 6.0 m 以上の艇。

3 - 2 レース委員会が不適当と認めた艇、及び艇長または乗員の参加を拒否することが出来る。

## 4. クラス分け、クラス識別リボン及び、リコールナンバーの扱い。

4 - 1 出場艇数が多い場合はレース委員会の判断により以下のようにクラス分けをする。

レーサークラス	ピンク
クルーザークラス	グリーン

4 - 2 参加艇はレース旗及びクラス識別リボンをチェックイン時からフィニッシュするまでデッキより 1.5m 以上の高さになるようにバックステーに掲揚すること。バックステーのない艇は本部艇から出来るだけ確認できる場所に掲揚すること。

\* クラス識別リボン及び、レース旗未掲揚の艇はリザルト対象外とする。

レース旗に関して JSAF 登録艇においては JSAF クラブバージを掲揚し、未登録艇においては、クラス識別リボンのみで結構です。

4 - 3 メインセールとヘッドセールで異なったセールナンバーを使用してはならない。

4 - 4 リコールナンバー使用艇はパウパルピットの両側に掲示すること。

\* セールナンバーのない艇は、リコールナンバーを艇長会議時に保証金 3,000 円で貸与し、保証金はレース当日のパーティー時にリコールナンバーと引き替えに返金する。

## 5. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は公式掲示板に掲示し、かつ海面でのチェックイン時にも口頭で通知する。

## 6. レースの中止

悪天候によるレース中止の決定はレース当日の 08:00 までにレース委員会が決定する。

又、混乱を防ぐ為通知は原則として公式掲示板及び各マリーナへ連絡するが、遠方からの艇は直接レース委員会の電話に連絡をしても構わない。

7. 艇長会議

10月30日(土)09:00より京急マリーナ1階テラスにて艇長会議を行う、三崎周辺(三崎マリン、京急マリーナ、シーボニアマリーナ、油壺特泊係留艇、小網代湾係留艇、諸磯湾係留艇)に停泊する艇は必ず出席すること。但し(京急マリーナの)ボートヤード内は車での進入を禁止とする。  
尚、10月31日(日)のみ参加の艇は同様に31日09:00より注意事項を伝達するので必ず参加の事。

8. コース

8-1 コース

\* 10月30日(土)ディスタンスレース(レーサークラス、クルーザークラス共)

シーボニア沖(スタート)~網代埼浮標(反時計回り)~南西沖ブイ(反時計回り)~網代埼浮標(時計回り)~シーボニア沖(フィニッシュ)

\* 10月31日(日)インショアレース 小網代沖

レーサークラス (6レグ) スタート(下)~上~下~上~下~上~フィニッシュ(流しこみ)  
クルーザークラス(4レグ) スタート(下)~上~下~上~フィニッシュ(流しこみ)  
各マーク(黄色三角ブイ)をボ-ト【左】に見て回航のこと。

**南西沖ブイの回航は漁船やプレジャーボートに十分注意すること**

8-2 ディスタンスレースの回航マ-クの参考緯度・経度

・南西沖ブイ【黄色浮標】 (N35度05分付近 E139度32分付近)

9. スタート

9-1 チェックイン

チェックインはスタートの予告信号前10分前までにL旗を掲揚した本部艇後方から本部艇をスタートボードに見て機帆走で通過し、セ-ルナンバ-(もしくはリコールナンバー)と艇名を告げること。但し他のクラスのスタートの邪魔をしてはならない。

9-2 スタート予告信号およびスタート

ディスタンスレース 2004年10月30日(土) 全艇一斉スタートとする

	予告信号	スタート
レーサークラス クルーザークラス	11時10分	11時15分

インショアレース 2004年10月31日(日)

	予告信号	スタート
レーサークラス	10時55分	11時00分
クルーザークラス	11時00分	11時05分

9-3 スタート信号

予告信号 (5分前)	クラス識別旗掲揚と音響信号1声
準備信号 (4分前)	P旗I旗Z旗又は黒色旗、掲揚と音響信号1声
スタート1分前	準備信号降下と音響信号1声
スタート	クラス旗の降下と音響信号1声

9 - 4 スタートライン

スタート・ラインは、スタ - ボ - ドの端となる外洋三崎大エンサイン旗を掲げた本部艇のポ - ルとボ - トの端となるマ - ク（黄色三角インフレ - タブル・ブイ）を結ぶ見通しラインとする。

本部艇 白ハルのクルーザー Y - 3 1 S（カリン）

10 . リコール

リコ - ル艇があった場合には、本部艇に X 旗が掲揚される（音響信号 1 声を伴う）。そして、当該 X 旗の掲揚は、該当艇が RRS30.1 に従ったリコ - ル解消を行う迄若しくは当該スタート信号後 4 分経過後の何れか早い方に降下（無音）される。（RRS29.2 の一部変更）

11 . ゼネラルリコール

ゼネラル・リコ - ルの場合には、RRS29.3 に従い、第 1 代表旗が掲揚され（音響信号 2 声を伴う）、新しいスタートは、第 1 代表旗降下 1 分後にクラス識別旗掲揚と共に予告信号が発せられる。前のクラスがゼネラルリコールになった場合でも、各クラスのスタート順序は変わらない。

12 . 運営艇

運営艇は外洋三崎小エンサインを掲揚する。

13 . コース短縮

スタ - ト後にコ - スを短縮する場合は、先頭艇が回航しようとするマ - ク付近にいる本部艇又は運営艇に S 旗と該当するクラス旗が掲揚され、音響信号 2 声が発せられる。この場合、当該マ - クと当該運営艇の外洋三崎大エンサインを掲げたポ - ルとの見通しラインをフィニッシュ・ラインとする。（RRS「レ - ス信号」の一部変更）

14 . フィニッシュ

フィニッシュラインは外洋三崎大エンサイン旗を掲揚した本部艇のポールとアウトマーク（黄色三角ブイ）を結ぶ見通しラインとする。

15 . タイムリミット

各レースのタイムリミットは以下のようにする。

10 月 30 日（土） ディスタンスレース タイムリミット 15 : 00

10 月 31 日（日） インショアレース タイムリミット 14 : 30

タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇は D N F と記録される。（RRS35 への追加）

16 . 抗議

抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該相手艇に対して通告（赤色旗の掲揚等）すると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ担当の運営艇に告げ、自艇のフィニッシュ後 90 分以内に、レ - ス委員会（陸上本部）に抗議書を提出しなければならない。審問の時間、場所については、抗議書受領後に公式掲示板に掲示される。

17 . レースの成立

各クラスのトップ艇のタイムリミット内でのフィニッシュをもって成立するものとする。

18 . 順位及び時間修正システム

レース委員会の定めたレーティングにより計算する。

19 . 得点方法及び順位

1 ) 本レガッタは 1 レースをもって成立する。

2 ) 得点は低得点方法を採用する。

3 ) 総合成績が同点の場合、レーティングの低い艇を上位とする。

4 ) インショアレースにおいて、コ - ス短縮があった場合、修正タイムの算出に於いては、上下レグの比率ではなく、レグ数の比率で計算する。

## 20. 出艇申告、帰着申告

- 1) 出艇申告は各レース日の朝09:00迄に陸上本部に提出する事(遠来艇はFAXでも可)
- 2) 帰着申告はフィニッシュをもって帰着申告とする。
- 3) 出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇の責任者はレース本部又は運営艇に速やかに必ず連絡すること。連絡の無い場合は海上保安庁に救助要請をすることがある。

## 21. 賞

各レースとも

レーサークラス	優勝	2位	3位
クルーザークラス	優勝	2位	3位

総合成績	優勝	2位	3位	その他飛び賞等
------	----	----	----	---------

## 22. レース本部及び公式掲示板

### 22-1 レース本部

所在地 : 10月30日(土)07:30 ~ 16:00 京急マリーナ1階テラス  
10月31日(日)07:30 ~ 16:00 京急マリーナ1階テラス

連絡先 : 電話 090-2338-4351 10月29日(金)21:00~24:00  
(電話番号を間違えないようにしてください) 10月30日(土)07:30~20:00  
10月31日(日)07:30~17:00

FAX 090-2327-3717 10月30日(土)07:30~31日(日)17:00

### 22-2 公式掲示板

所在地 : レース本部所在地と同じ  
設置期間 : 10月30日(土)07:30 ~ 10月31日(日)17:00

### 22-3 レース役員

レース実行委員長	関 恭一郎
レース副実行委員長	山下 博史
レース委員長	高橋 正実
プロテスト委員長	渡邊 晋也

## 23. パーティー&表彰式

### ウェルカムパーティー

日時 : 2003年10月30日(土)16:00より。  
(レース中止の場合も予定通り行うが開始時間が早まる事もある。)  
場所 : 京急マリーナ 駐車場1台500円 駐車券は17:00までに京急マリーナ事務所で購入の事  
料金 : 当日パーティー券 1000円(チケット制)

### アワードパーティー

日時 : 2003年10月31日(日)16:00より。  
(レース中止の場合も予定通り行うが開始時間が早まる事もある)  
場所 : 三崎マリン  
料金 : 当日パーティー券 1000円(チケット制)  
尚、パーティー券は両日共通とする。

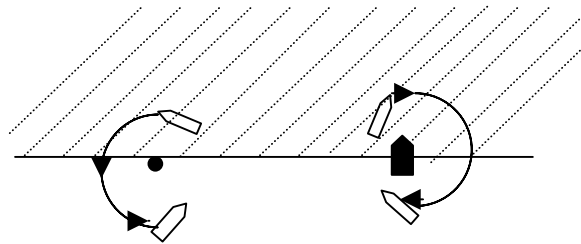
以上

(付録1)

RRS 30.1 ラウンド・アン・エンド規則

I 旗が準備信号の前、それと共に、または準備信号として掲揚された場合、スタート信号前の 1 分間に、艇体、乗員または装備の一部でもスタート・ラインまたはその延長線のコースサイドにあれば、その艇はスタートする前にスタートラインのいずれかの端を回って、スタートラインのプレスタートサイドまで帆走しなければならない。

ラウンド・アン・エンド規則



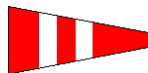
(付録2)  
旗に関して



S 旗 レース委員会がコースの短縮を決めた時、本部艇と運営艇に掲げられる。(帆走指示書 13)



M 旗 マーク漂流時、帆走指示書に記したマーク以外の浮体をマークとして用いる場合にそのものに被せる。



回答旗 スタートしていないレースは延期される。




















数字旗-1



数字旗-2

スタート(風下)

掲揚旗参考例(準備信号にI旗を使用した場合)

	チェックイン		予告信号	準備信号	1分前	スタート	リコール	ゼネラル 又はリコール
旗掲揚	UP 	DOWN 	UP クラス旗	UP 	DOWN 	DOWN クラス旗	UP 	UP 
本部艇上の旗	 		 クラス旗	 クラス旗 	 クラス旗		 	 

## インショアレース コース図

レ - サ - クラス スタート (風下) ~ 上 ~ 下 ~ 上 ~ 下 ~ 上 ~ フィニッシュ (風下)  
6 レグ

クルーザークラス スタート (風下) ~ 上 ~ 下 ~ 上 ~ フィニッシュ (風下)  
4 レグ

\* ブイは黄色三角ブイとする

### レーサークラスの場合

